

事業者向け

放課後等デイサービス評価表

黒松杜っこ

2021年12月実施(7名中7名回収)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			活動に内容によって、部屋を分けたり工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか	7			職員不足の月もあったが、現在落ち着いている
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			7	借用物件のため構造上制約有、難しい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			目標を定め打ち合わせを通して振り返りを行い、問題点があれば協議し、改善目標を明確にしている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			アンケート結果を精査し、把握した時点で保護者とコンタクトを取り、改善を計っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			法人のHPで公開する
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	現時点で外部評価は無く、外部に依頼する方向で進んでいる。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			支援部の研修を含め適時必要な研修の機会を設けている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			適切なアセスメントを行い、計画立案に際し、保護者の意向も留意し進めている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			毎日の打ち合わせにリスニングを行い立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			可能な限り工夫を重ね、季節感を取り入れた工作等を通して、活動の固定化を防いでいる。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			職員からの提案された活動を生かし日々工夫している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個々の特性を考慮し、個別活動、集団活動を組み合わせ作成している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			当日の打ち合わせに置いて当日の支援活動、担当割等綿密に確認、実施している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			連日振り返りを通して情報共有に努める職員間の情報連携や記録をしっかり行う
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			利用児童に対して個別に記録を徹底し、検証、改善につながるべく注力している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的に必要に応じて適切に実施
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者が出席しているが、可能な限り関りの多い指導員と共に参加しているが、コロナ禍のため、学校交えての会議は難しい状況にある。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			しっかり情報共有を行っている。先生には開かれた質問など杜っとこから情報を頂く姿勢を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7		医療的ケアが必要な子どもの利用がまだないが、利用があれば必ず体制を整えていく
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			7	必要とされた場合適時行っていきたい
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			可能な限り細かいところまで情報を共有し対応している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	3	コロナ禍にあり連携は浅く、研修は少なくなったが、必要に応じて確認をしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5	コロナ禍のため、積極的に関りを持つ機会は作られていない
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			7	コロナ禍において、現時点開催が見込めない状況、再開後の課題とする。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日々の児童の状況、支援内容を保護者との連絡帳を通して共有している
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			面談等を通じ、可能な限りの支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			利用説明時や面談を通して適せつに行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			送迎時相談されることが多く、時間をかけて丁寧な対応を行っている。場合によっては持ち帰って対応となる
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	6	コロナ禍のため、安全安心を優先し、出来る時にスムーズに実行できるよう準備をしている

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			確認次第管理者より対応し、適切な改善策を模索し解決に繋げている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			ラインを通して日々の活動に対してライブで画像を送るなど、情報を理解しやすいようにしている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			情報漏洩に対しては、神経を使い管理し職員の意識を高めている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	町内会集会も行われていないのが現状。コロナ禍のため、対面以外の地域との関りを行っている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		定期的なマニュアルの見直しを行い、その都度周知出来るよう整えていく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年に2回自地震、火災、防災様々にケースの避難訓練を実施している。担当など細かな設定を行い都度改善点を検討
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			現場内での勉強会を行い確認をしている。今後は事業所としての勉強会も入れていく
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			計画書の中で拘束に対して承諾を頂くなど保護者の理解を頂き活動を行っている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			該当児童はいませんが、対応する体制を整えている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			事故報告に繋がらない様に、ヒヤリハットの時点で検討会を開き自分事として受け止め実施